

# かがやき新聞 三月号



## 「京くら」ありがとう



二月十七日は「京の田舎暮らしだより」三月分の収録でした。この三分収録をもって、私はこの番組から引退をします。約一年半のラジオ出演と制作はとても楽しかったです。

この日のテーマは「古民家にくらして」まとめ的な終わり方は寂しいので、普段の生活を語りました。

四月分からは、京北の中野隊員が入り、吉岡隊員と番組を作ってくれます。どんな番組になるのか楽しみです。皆さまもお手すきの際に聞いていただければと思います。

隊員レギュラー出演  
京の田舎暮らしだより  
京都三条ラジオカフェ  
FM 79.7MHz  
毎月、第2、第4火曜日  
12:00 ~12:09  
3月は9日と23日です！

<http://radiocafe.jp/2019010001/>



京都市文化市民局地域自治推進室北部山間かがやき隊  
岩陰・水尾地域担当 五明 昇祐  
京都市右京区嵯峨嵯原宮ノ上町二一五 岩陰出張所  
電話 〇七七ー 四四 〇三一四

## フジバカマ片付け



二月十四日、水尾のフジバカマ畑の片付けを行いました。枯れたフジバカマの草を刈り取って、燃やし、後には除草剤を散布しました。

この日は暖かく、しかも火を焚いていたので暑く、しかも火で髪を焦がしてしまいました。焚火では、焼き芋をしたり、マシユマロを入れたり、ほっこりとした一日でした。今年、フジバカマの花が見れますように。



## 退任のごあいさつ

今月末をもちまして、任期満了につき、かがやき隊員を退任することになりました。地域の皆様方におかれましては、二年九か月の間、ご指導ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。今後は京都市内に居を移し、仕事を行ってまいります。任期満了の後は、一市民として岩陰の竹灯籠やハロウィン祭、水尾のフジバカマ・ゆずしぼりなどに伺えればと思っております。春光を受けて、岩陰・水尾地域のより一層のご発展をお祈り申し上げます。



## 日の要慎

▽初回の折に愛宕神社のお札「火の要慎」の話をした。京都の台所では、よくこのお札が貼ってあり、古い家だと台所に布袋人形が並んで置かれている。私が今住んでいる家にもあった。  
▽毎年初午の日に伏見稲荷に参詣した際に布袋人形を買い、七体まで集める(途中でご不幸があった場合はお返ししてやり直し)。布袋は荒神(カマドの神)の使いとされていたという。  
▽家にあった布袋人形は、かっつておくどさんがあったので煤けて真っ黒だ。「火の要慎」のお札といい、そこが「京の田舎」らしく信仰に根差した生活を示している。  
▽古来人々は火にとどまらず、水や木、山や川など自然界のものを神聖視し、神が司っていると考えた。私も自然の力を田舎暮らしを通じて実感した。街中でも忘れずに「要慎(用心)」しておきたいものだ。感謝の意を込めて。